



冊子『おせっかいなまち・光が丘～孤立死ゼロをめざして～』を作成しました！

と き 3月9日(日)から配布開始

と ころ 光が丘地区周辺(光が丘地区連合協議会ホームページで公開 URL: <http://korenkyo.matrix.jp/korenkyo/>)

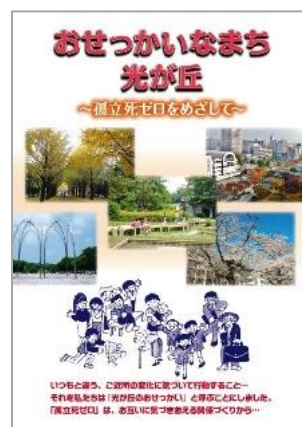
光が丘地区の自治会や団地の管理組合などで構成する「光が丘地区連合協議会」を中心とした地域住民が、冊子『おせっかいなまち・光が丘～孤立しゼロをめざして～』を作成した。9日(日)から同協議会の構成員が、光が丘地域の住民に全戸配布する。

光が丘は都内有数の大型高層団地の一つ。団地での暮らしはプライバシーが確保される一方で、意とするしないにかかわらず「孤立」が課題となっており、毎年数件の「孤立死」も発生している。

地域として「孤立死」対策を講じるうえで、住民が異変を発見した場合に、どこに連絡・相談すればいいかが分かるようにしたほうがいいという考えから、冊子作成と全戸配布の企画に至った。

冊子には、自分の存在を知ってもらうために「玄関のドアに表札をかけること」から始まり、近所の人の変化を発見するポイント、異変を発見した時の相談先、相談後の専門機関による対応例など、住民だからこそその視点やアイデアが記載されている。

本冊子は、光が丘地区連合協議会ホームページからもダウンロードできる。



【冊子表紙】

【小冊子ができるまで】

平成25年7月から冊子作成のための委員会を立ち上げ、7か月間、11回にわたる委員会を開催し、作成に至った。委員会は、団地の管理組合や自治会、区民防災組織で構成される光が丘地区連合協議会の役員、民生委員、児童委員、光が丘警察署、同消防署、地域包括支援センター、区の関係部署のメンバー18名で構成し、練馬区社会福祉協議会が委員会の運営をサポートした。

委員会では、「いつもと違う近所の人の変化に気づいて行動すること」について「見守り(る)」という言葉は一切使わず、『光が丘のおせっかい』とし、気づき合うことの大切さを提案している。

冊子には、住民の異変に気がついて助かった事例や、孤立死が発見されたエピソードなども掲載されており、読みやすいようにイラストを豊富に使用。表紙は住民が撮影した光が丘の四季折々の写真が飾られている。

【冊子の概要】

A4サイズ44ページ(表紙裏表紙含む)、13,500部作成。

冊子の作成には、平成25年度東京都「地域の底力再生事業」の助成金を活用している。

【講演会の開催】

冊子の完成・配布にあたり、講演会を開催する。

テーマ：おせっかいなまち・光が丘～孤立死ゼロをめざして～

とき/場所：平成26年3月30日(日)午後6時30分～8時30分/光が丘区民センター2階

講師：NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長 樋口恵子



【問い合わせ】福祉部 高齢社会対策課 高齢調整係 電話03-5984-4582